

～本質を探究し、相談しあえる仲間をつくる～

ロジスティクス研究会

2026年度参加メンバー募集

*旧名称:ロジスティクスシステム研究会

開催日程

2026年5月19日～2027年3月16日

全11回開催予定

開催形式

集合開催（東京）

※当協会の会議室（東京都港区）でのご出席を原則とします。
※業務都合等の場合に限り、オンラインでのご出席も可能です。

- ◎参加メンバーの取り組み事例をベースとした問題・課題の発表と意見交換
- ◎業種・業態、担当業務・役職等を超えた、多様なメンバーとの交流
- ◎最新の経営課題や、新技術の社会実装を題材としたグループ討議

ロジスティクス研究会について

ロジスティクス研究会は多様な業種・業態のメンバーが集まり、メンバー自身が抱えている課題や自社をとりまく環境の変化への対応策等を共有する研究会です。

ロジスティクス・物流に関する様々なテーマについて、参加メンバー同士での発表や討議などの活動を通じて自身の職域を超えて理解を深め、課題研究・情報交換を行います。

本研究会はフランクなコミュニケーションを維持しながら、討議においては率直・闊達な発言を積み重ねてメンバーの見識向上を図っていく“道場のように切磋琢磨する場”です。

問題の発見と解決のヒントを掴む場

ロジスティクス研究会

【ビジネス環境】

- ・SDGs、地球環境保全
- ・人手不足
- ・地政学リスク、経済安全保障
- ・異業種参入、顧客価値の変革
- ・AI技術の進化
- ……など

【メンバーの関心事に取り組む】

- ・他社における取組状況
- ・各業界における動向
- ・新技術、先進的な事例

【対応すべき課題】

- ・DXによる変革
- ・物流関連2法の改正
- ・企業間のトレードオフ
- ・グローバル再編
- ・人材への投資
- ……など

発表・討議

新たな知見・ノウハウの習得
業務における問題・課題のブレイクスルー
人的ネットワークの構築と協業



公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

参加のおすすめ

本研究会は、各社の月次の事例発表や年間テーマのグループ研究から成っていますが、どちらも参加メンバーの闊達な討議により事例・研究テーマの本質に迫っていく運営を心掛けています。対象はロジスティクスを軸にSCM、先進改革戦略・方策としています。

事例発表においては、1テーマ約80分で、発表時間半分、討議時間半分を目安とし、意見・質問・討議を屈託なく行います。グループ研究では、近年はDXやそのためのデータ活用を課題としてとらえ、グループ単位で自らDXを作ってみるアプローチをしています。発表や研究は、いずれも“道場のように切磋琢磨する場”でテーマの本質に迫る討議を目指します。

参加者は継続・新規の方が混在していますが、毎回それを意識することはない環境です。

ビジネス環境は、不確実に起こる経営衝撃への備えと対応が必須となっています。そのために、社内・個人での研究・検討だけでなく、外の多くの仲間の専門知識、見識に触れながら、対象の本質をつかみ、活用する力を向上させ、自ら戦略・方策を考え、それを自社に持ち帰り役立てることこそが本研究会の目指すところです。

ためらわず積極的に意見を交わし、実力をあげ、相談しあえる仲間もつくりましょう。

ロジスティクス研究会 主査 田村 耕司
経営・SCMコンサルタント(元コマツ物流 社長、コマツ 物流企画部長)

本研究会には、多様な業種・業態のメンバーが集まり、それぞれの知見を持ち寄って議論を深めています。毎月、各メンバーが抱える課題や自社を取り巻く環境変化への対応策をテーマに発表を行い、多角的な視点から意見交換を行います。他メンバーの新たな発想に触れることで、実務に活かせる示唆を得られる場となっています。

11月の「集中討議」では、メンバーが関心を寄せるテーマを抽出し、事前準備を経て2日間にわたる議論を展開。日常業務から離れ、ロジスティクスやビジネス構造を俯瞰しながら、テーマについて深掘りを行います。グループディスカッションを通して多くの気づきが得られる貴重な機会です。

また、有志による懇親会もあり、プライベートな悩みや情報交換ができる「フランクな雰囲気」も本研究会の魅力のひとつです。立場や業界を超えた交流を行っております。年に一度、過去の参加者(OBOG)を含めた交流の機会(講演・懇親会)もあります。

新しい知見を得たい方、視野を広げたい方、業界を超えたネットワークを築きたい方にとって、大変有意義な研究会です。ぜひ、ご参加をお待ちしております！

ロジスティクス研究会 副主査 貫名 忠好
西濃運輸(株) 執行役員/セイノーホールディングス(株) ロジスティクス事業部 部長

参加メンバー

過去の参加企業例

(株)アセットソリューション	シンフォニアテクノロジー(株)	(株)ハンナ
伊藤ハム米久ホールディングス(株)	親和パッケージ(株)	日立建機ロジテック(株)
インターシステムズジャパン(株)	西濃運輸(株)	(株)日立製作所
SBSリコーロジスティクス(株)	大成建設(株)	日野自動車(株)
岡崎通運(株)	つばさホールディングス(株)	(株)ブリヂストン
鹿島建設(株)	テルモ(株)	(株)バネッセコーポレーション
カリモク家具(株)	帝人物流(株)	ホンダ運送(株)
(株)紀文フレッシュシステム	(株)トーコン	松岡冷蔵(株)
キリンググループロジスティクス(株)	デロイト トーマツ コンサルティング(同)	マルチウエーロボティクス
KDDI(株)	東芝デジタルソリューションズ(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
コヒーレント・コンサルティング	(株)トラフィックレンタリース	ヤマト運輸(株)
(株)コマースロボティクス	日本貨物鉄道(株)	(株)リコー
サッポログループ物流(株)	日本通運(株)	(株)リベロエンジニア
ジョーンズラングラサル(株)	日本電信電話(株)	(株)ロジネス

参加企業の業種

荷主、物流(運輸、倉庫、3PL等)、不動産、ロボティクス、IT、コンサルティング等

参加メンバーの所属部署・役職

新技術開発、事業・戦略企画、ライン業務担当 等
役員、マネジャー、企画スタッフ、実務担当者 等

2026年度活動プログラム

■ 開催日程 全11回開催予定／開催時間14:00～17:00(第7回を除く)

第1回	2026年 5月19日(火)	第2回	6月16日(火)	第3回	7月21日(火)
第4回	8月18日(火)	第5回	9月15日(火)	第6回	10月20日(火)
第7回	11月 集中討議(2日間)	第8回	12月15日(火)	第9回	2027年 1月19日(火)
第10回	2月16日(火)	第11回	3月16日(火)	※日程は変更となる場合があります。	

■ 主な活動内容

プログラムは「メンバーによる取組事例発表とディスカッション」を中心に行います。また、メンバーのご関心等を踏まえて現場見学やゲストによる講演等も実施いたします。各種企画のご提案も承っているほか、自社拠点への見学の受け入れやゲストのご紹介等を依頼する場合がございます。

✓ メンバーによる取組事例発表とディスカッション

メンバーが有するお悩みや課題についてご発表いただき、全員でディスカッションを実施します。多様な切り口によるディスカッションから、課題解決の糸口を見つけることができます。

過去の発表テーマ例

アーム型ロボット活用によるピッキング作業の自動化について	ASNユニット検品の導入拡大と課題
2024年問題を商機と捉えたチルド食品の共同配送(外販)の更なる拡大	WMS端末では対応しにくい出荷ミスの削減対策とドライバー拘束時間短縮の取り組み
国内二輪完成車市場減少下における輸送効率の改善と課題	物流センターのデジタルツイン実現までの距離と必要性
原料調達フロー再構築と課題	リチウムイオン蓄電池 貯蔵用耐火性収納箱の開発
青果卸売業務のDXに関する取り組み	自動搬送ロボット(AGV)導入及びBIツール導入によるB2C出荷作業改善
海外勤務中に感じた日本と任地(海外)の物流の相違点	物流ロボットの効果的な活用方法とデータ連携の研究
自動車製造工場内物流請負サービスレベル構築	スマートグラス活用方法の探求

✓ 集中討議

集中討議では特定のテーマについて討議し、その結果について発表やディスカッションを行います。日常の業務から一歩離れ、自由な発想でアウトプットを行う機会を提供します。

過去の集中討議テーマ例

【失敗要因と成功モデル】 2024年問題への対応に向けた共同輸送のあり方	【DX推進上の問題・課題と解決策】 サプライチェーン/SCM、倉庫、輸配送のDX推進を阻む要因と、ブレイクスルーのためのアイデア
【新たなシステムの実装の試み】 デジタル技術を活用した新たなシステムの検討と社会実装を見据えたアクションの整理	【データ活用のセンスを磨く】 データ活用によるビジネスモデルの変革事例から「変革のポイント」を探る

✓ 企画委員会

メンバーから5名程度の方が委員となり、集中討議をはじめとする各種企画の検討ならびに、運営のサポートを行っていただきます。

企画委員会への参画については初回会合にてお伺いします。“立候補”をお待ちしています！

参加メンバーの声

- 全体的に活発な議論ができたと感じています。様々な切り口から物流の現状について学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。
- 普段関わることのできない企業の方々と議論しあう場があり、大変貴重な機会となりました。発表いただく問題点や取組事例などには自社で活かせるもの多く、現場に持ち帰り活用したいと思いました。
- 普段の業務ではあまり馴染みのない分野の話題もあり、個人的には難しい内容もありましたが、そのような観点から物流を改めて俯瞰してみるのも面白いと感じました。
- 集中討議はとてもよい機会でした。バックグラウンドが異なるメンバー同士の議論は討議内容にバリエーションがあり、学びとなりました。討議を行ったグループ間で議論の経過を共有することで、思考法やストーリーを確認することができ、有意義な時間でした。

参加申込規程

■ 参加料 ■

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員

参加料 **121,000**円 (税込/1名)

会員外

参加料 **264,000**円 (税込/1名)

※見学先等までの交通費は各自負担となります。

■ 参加申込方法 ■

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。



※当協会のホームページは
<https://www1.logistics.or.jp/>
または「JILS」で検索してください。

■ 参加定員 ■

30名

■ 参加料お支払い方法 ■

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として第1回会合開催前日までにお問い合わせいたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

第1回会合開催7日前～前々日(開催日を含まず起算)…参加料(消費税を除く)の30%

第1回会合開催前日および当日……………参加料(原則として消費税を除く)の全額

※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

■ 問い合わせ先 / 会場 ■

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 業務管理部
東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウム3階
E-mail:shien@logistics.or.jp

個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。

詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。

なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡・受講者名簿の作成、および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。